

大学コンソーシアム大阪 SD研修プログラム シラバス

プログラム名	「2018年度 国際化推進担当者研修～学外組織・地域との連携の可能性～」	
実施日時	2019年3月15日(金)9:30～18:30 (9:00開場)	
実施会場	キャンパスポート大阪 ルームA (大阪駅前第2ビル 4階 西側)	
担当講師名<敬称略> (※は、2018年度実施の「海外SD研修」参加者)	①仲谷元伸(大阪府政策企画部 万博誘致推進室 参事 事業推進グループ長) ②関西SDGs プラットフォーム事務局からのゲスト講師 ③栗林知美(大阪府立大学 国際・地域連携課 課長補佐(国際交流グループ長)) ④畑中みどり(大阪学院大学 国際センター 派遣留学コーディネーター) ⑤西脇菜穂子(関西大学 教育開発支援センター事務局 学事局 授業支援グループ) ⑥浅田直哉(大阪経済大学 財務部)※ ⑦香山由希(大阪女学院大学 教務・学生課)※ ⑧朝倉由衣(摂南大学 就職部就職課)※ ⑨塩川雅美(大阪市立大学 客員教授、大学コンソーシアム大阪SD研修コーディネーター)	
講師略歴	<研修統括「⑨塩川雅美」の略歴> 民間企業勤務経験を経て1988年より大学職員となる。 主に中小規模私学において「国際交流」「大学広報」「入試広報」「大学改革」「副学長(国際交流担当)」を担当。 国立大学法人京都工芸繊維大学国際交流センター助教授として留学生対象の授業担当経験あり。 JAFSA常任理事および研修委員、大学行政管理学会監事、大学マネジメント研究会理事など歴任。	
受講可能人数	20～30名	
主な受講対象者	所属大学において「大学の国際化」の施策立案・運営を担う大学教職員 <所属部署不問:「国際交流担当部署」に限定しない>	
プログラム概要(目的)	「国際化」は、単に留学生の受入れや、学生の海外派遣、語学教育の充実だけではないことを理解し、「グローバル」な視点から自大学の国際化施策を(再)検討する機会を提供する。特に、自大学の「国際化」を推進するための施策立案にあたって、学内のリソースに限定せず、学外組織や地域との連携を視野に入れることを理解する。	
プログラムの到達目標	①「国際交流」、「国際化」、「グローバル化」の相違について説明できる。 ②国連のアカデミック・インパクトについて説明できる ③SDGsおよび関西SDGsプラットフォームについて説明できる ④学外組織と連携した留学生受入れの取組みについてアイデアを一つ以上述べるができる。 ⑤地域社会と連携した「地域の国際化」への貢献方法についてアイデアを一つ以上述べるができる。 ⑥高等教育における「多様性」の意義について説明できる ⑦自大学の「国際化」推進のために自分ができることを述べるができる。	
プログラム内容 (9:30～18:30の時間帯で各講義の順番など変更可能性あり)	時間	内 容
	9:00～9:30	受付
	9:30～9:50	日程説明とアイス・ブレイク
	9:50～10:20	留学生受入れの視野を広げる
	10:30～11:30	留学生と地域の交流
	11:30～12:20	昼食(お弁当)※1
	12:20～13:10	大阪府の国際イベントと大学
	13:20～13:40	高等教育の国際貢献
	13:50～14:30	関西SDGsプラットフォームについて
	14:40～15:40	LGBT学生の支援 ～米国大学におけるLGBT学生の海外留学支援をもとに日本での留学生受入体制を考える～
	15:50～16:50	海外の大学から学ぶ～2018年度海外SD研修に参加して～
17:00～17:30	振り返り (講師全員) 受講証授与、記録写真撮影	
17:30～18:30	情報交流会(ネットワーキング)※2	
事前課題	なし	
事後課題	所属大学が「関西SDGsプラットフォーム」や国連の「アカデミック・インパクト」に加盟していない場合は、研修で得た情報を学内で共有し、加盟に向けた行動を起こすことが望ましい。	
受講にあたっての連絡事項等	「大学の『国際化』」は、「国際交流」という名称を冠した部署のみで実現はできない。留学生の受入れや、学生の海外派遣、語学教育の充実だけで実現される「国際化」は、「目に見える」成果であって、「真の国際化」ではないことを理解し、管理部門の方であっても参加を検討いただきたい。 ※1 昼食は参加者同士、講師と情報シェアの時間のため、研修会場で手配したお弁当(1000円)を食べていただきます。 ※2 「情報交流会」は、参加者同士、講師等との貴重な情報交換とネットワーキングの時間です。参加費無料です。研修会場で開催します。	